



優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

ふれあいネットワーク

# まほろば

## 社協広報

第82号



## 慣れない販売に照れ笑い

～福祉のつどい作業所販売にて～

山形村社会福祉協議会は、昭和63年7月に社会福祉法人として設立されてから、三十周年を迎えることができました。

今回の福祉のつどいは、地域住民やボランティア団体、就労支援事業所など様々な方が関わる中で、それぞれの「生きがい感（たから）」を共有することができた一日となりました。

今後も社会福祉協議会では『誰もが幸せに生きられる地域づくり』『一人ひとりが生きがい感に充たされた暮らし』を目指し、住民の皆さんと互いに協働し、地域づくりを進めていきたいと思ひます。

詳しくは1～3ページをご覧ください。

社会福祉法人設立三十周年記念

平成30年度 福祉のつどい……………1～3

アンケート集計結果のご報告……………4・5

山形村遺族会「靖国神社参拝」に参加して……………6

赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動の実施結果  
／山形小学校・鉢盛中学校寄付／たのみま処協力会員募集……………7

# 社会福祉法人設立三十周年記念

## 平成30年度山形村福祉のつどい開催!!

～一人ひとりの「たから」をつなぐ～

12月1日(日)、山形村農業者トレーニングセンターにて平成30年度山形村福祉のつどいを開催いたしました。

山形村社会福祉協議会は、昭和63年7月19日に社会福祉法人として設立（移行）されて、本年、三十周年を迎えました。

この間には幾多の困難も生じましたが、地域住民の皆様の変わらぬご支援と社協に関わった多くの方々のご努力で克服され、今では事業所14区分、扱い高3億9千万円、各種資格保有者と協力者含め職員72名に至っています。

あらためて今までの事業を思い起せば、かつての「困難」も、私たちの可能性を引き出してくれる「素晴らしい出来事」に他ならなかったことを気付かせてくれます。住民の皆様と社協活動に関わってくださった多くの方々には、心から厚く感謝申し上げます次第であります。

地域福祉は、社会の急速な変化により、ますます重要になっています。社会福祉法人山形村社会福祉協議会は、皆様が三十年間に築き上げてくださいました事績を「宝」として、これからも継承していきます。

今、社協に携わっている役職員は、行政と連携し、地域の皆様や福祉関係の皆様と力を合わせ、地域の福祉課題に取り組み、山形村にお住まいの皆様が安心して暮らせる「地域福祉」を実現する決意であります。そして、皆様から信頼され愛される「社協」を目指し、努力を重ねます。

今後とも住民の皆様のご支援と関係する皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



会長 中村 一博

## 社会福祉法人設立三十周年記念特別表彰

特別会員会費 多額納入団体・企業に対して表彰を行いました。

山形村商工会 様  
森井自動車株式会社 様  
有限会社山辺鉄工 様



## 川柳コーナー

今年度は、「たから」をテーマに、小学生以下の部、一般の部に分けて川柳を募集しました。合わせて約90句ほどの川柳が集まり、当日会場に掲示され、来場者の方の投票により、それぞれ2句ずつ優秀賞が選ばれました。

### 優秀賞作品

小学生以下の部

山形小学校 したれ桜

お金では買えない 立派な宝物

したれ桜を守る山形っ子

パパとママ 私にとっては 宝物  
やまがた娘

一般の部

紅葉の手 夢中で遊んで 筋肉痛

孫大好きばあば

おきな子の

笑顔が私の たからもの

イクメンパパ

ご応募いただき、ありがとうございます。全ての川柳は、ホームページに掲載させていただきます。



## 三十周年記念公演

今年は法人設立三十周年記念公演ということもあり、古今亭 菊生師匠による落語二席と林家 楽一さんによる紙切りの公演をしていただきました。

菊生師匠の「落語は面白いと思ったら笑う。面白くなくても笑う。」という第一声に笑いの渦が起こり、一瞬にして落語の雰囲気巻き込まれていました。

一席目は、面白い小噺をたくさん集めた落語、二席目は、独特な口調と調子の人情話『熊の皮』『ラーメン屋』の演目で、来場者の皆さんは前のめりになり、聴き入っていました。

林家 楽一さんの紙切りでは、会場の方から出たリクエストに会話をしながら、即座に紙を切っていく、『人魚』『猪』『ピカチュウ』『アナ雪』今話題の『カルロス・ゴーン』極めつけは、『山形村特産のそばと長芋とリンゴ』の3つを一緒に作り上げ、リクエストした方にプレゼント。最後には、会場にいた方の横顔があつという間に出来上がりました。1作品出来上がるごとに会場は、感心と驚きの声が上がっていました。

多忙な皆様の心休まるひと時となったのではないのでしょうか。



軽快落語でみんなの心を鷲掴み



その手にかかればあつという間に出来上がり!

## 団体発表

村内で活動する『人形劇サークルてぶくら』『やまがたウインドアンサンブル』『こどもコーラスTanpopo』『彌磨太鼓』の4つのボランティアグループに発表していただきました。

人形劇を見ている子どもの手にはバルーンアートで作ったサーベル!

「三枚のお札」の鬼婆を「ヤーヤー」と一緒に退治して楽しむ姿や、流行りの曲、馴染みの曲など、素敵な楽器の音色やハーモニーに会場が包まれました。小さなバチを手に握りしめた3歳のお子さんが、大きな太鼓を頑張って叩く可愛らしい姿や、子どもとは思えない、からだ全体に響き渡る力強い太鼓演奏など、会場が一体となり楽しめました。



「鬼婆をやっつけろー!!」



呼吸の合ったアンサンブルの素敵な演奏



気迫に溢れた檜搦き



会場中に響き渡る素敵なコーラス

## 子どもブース

バルーンアートのコーナーでは、子どもたちがボランティアで参加した松本大学の学生さんと一緒に、ブードルやウサギ、サーベル、お花などを作って楽しみました。

子どもたちは怖いもの知らずで、バルーンが割れることも気にせず、勢いよくねじり、たくさんの種類を作り上げて両手にいっぱい抱え、笑顔で見せ合い満足している様子が見られました。

工作コーナーでは、ツリーに見立てた松ぼっくりに、好きな色や形のビーズをデコレーションし、自分だけのオリジナルツリーを作りました。

目を輝かせながらたくさん可愛いビーズを選ぶ子どもたち。最初は子どもが作っていたはずが、見ていたお父さんもいつしかツリー作りに夢中になり、親子で楽しんでいただけたようです。



みんなが夢中になったツリー



黙々とバルーンアート作成中

## 作業所販売

作業所販売では中信地区にある6つの就労支援事業所に参加していただき、今川焼き、焼き芋、パンや野菜、手作りの手芸品などを販売しました。自分たちで作った商品を自ら「いらっしゃいませ」「何個ですか?」と緊張しつつもハニカミながら声をかけ、商品を丁寧に袋に入れて販売している姿が見られました。始めのうちは、ぎこちなさが見られた声かけでしたが、来場者の方に声をかけていただき、時間が経つにつれて元気な声で対応できるようになりました。

その他に就労支援センターすばるでは、手芸品の展示や利用者が直接切り絵の実演を行いました。見学されている来場者からのあたたかい言葉をたくさんいただき、緊張の中でも多くの皆さんとのやりとりを通じて貴重な経験ができた1日でした。



新鮮な取れた野菜、いかがですか?



数ミリが命の匠の技

## もったいない食堂

昨年に引き続き行なった『もったいない食堂』では、今年も想いが詰まった、たくさんの野菜やお米などの「たから」を住民の皆さんや農家の方々、定年就農者の会員の皆さんからご寄付いただきました。また、地域の宝であるボランティアの皆さん（農村マイスター・スマイル食育・日赤奉仕団）のご協力をいただき、約150食分の食事を準備・提供することができました。

もったいない食堂の開店時には、ご家族の皆さんと来てくださった方、お友達やお孫さんを誘って来てくださった方、会場のお手伝いに来てくれていた学生さんや就労事業所の皆さんと共に、美味しい食事を一緒に楽しく食べることができました。

現代の食卓は、「孤食」がテーマになりつつあります。例えば、高齢者の認知症のリスクにつながることもあります。子どもから高齢者までが集い家族のように食事をし、コミュニケーションをとりながら、楽しく食事をするのが大切だと言われている中、今回のように大勢の皆さんと、一緒に食事を楽しく、そして美味しい野菜を残さず食べられることを続けていければと考えています。



おばあちゃんとシャカシャカ楽しくおにぎり作り♪



食材を余すことなく使い切る

## 漬物サミット

漬物サミットでは、JA松本ハイランド女性部山形支所・山形村食生活改善推進協議会・いきいきサロンのコスモス会の方々にご協力いただき、山形村の知恵の「たから」である、漬物レシピの紹介を行いました。

簡単にできるお手軽な漬物から、健康を意識した漬物や昔ながらの漬物のレシピが約20種類紹介され、来場者は多くの漬物の試食を楽しみながら、レシピ（知恵のおみやげ）をお持ち帰りされていました。



私たちの知恵の「たから」お試しあれ!



ぬか味噌漬物

今日のレシピを <sup>ちよこつと</sup> 紹介!

『ヨーグルトを使った、ぬか味噌漬物』

### 材料

プレーンヨーグルト	150g
味噌	15g
大根	4分の1
人参	1本
きゅうり	1本

### 作り方

ヨーグルトと味噌を良く混ぜ合わせて、野菜を入れて漬け込む。2日ほどで食べられます。

## マルシェ おたから市場

おたから市場では、子ども服やおもちゃなどのリユース品、木工やクラフト、手作りのアクセサリやストラップ、自分で撮影した写真をプリントして作った雑貨など、8つのブースのフリーマーケットや、日赤奉仕団の皆さんと社会福祉協議会によるバザーが行われました。



ただいま吟味中…

来場された方は、並べられた商品の一つひとつ手に取り、楽しく話を聞きながら商品を選ぶ姿がみられました。ト音記号の形をしたメモスタンドを購入した方に「もし緩くなってきたら、ここを締めるとまた使えるよ」と出店者の方が商品について分かりやすく話をしていました。

木工・クラフトのブースでは、拾ってきた木を材料に使ったボールペンやマグネット、ワイン祭りに出店している関係から、コルクをもらって作った松本山雅を応援する置物、知り合いからもらったそろばんの珠を使ったネックレスなど、様々な商品が並べられていました。

出店者同士でお互いの商品について情報交換をするなど、交流の場にもなっていたようでした。

社会福祉協議会で行なったバザーの売上金 10,480円は岩手県山田町社会福祉協議会へ、ブース出店料 4,000円は平成30年北海道胆振東部地震の義援金としてそれぞれ寄付させていただきました。

## 岩手県物産展

物産展では、岩手県の『道の駅やまだ』などから特産品を仕入れ、義援金分を含めた金額で販売しました。

例年人気の『山田の醤油』や、試食として出した『まぜごはんの素』や『スープ』は、すぐに完売するほどの人気でした。

購入された方からは「とても美味しかった。また機会があったら、ぜひ買いたいのので教えてね。」との嬉しい声が聞かれました。

岩手県山田町社会福祉協議会は、東日本大震災にて復興支援ボランティアバスパックで参加させていただいたご縁から、毎年物産展の売上を寄付させていただいております。

山田町社会福祉協議会からその後の復興の経過をご報告いただき、山形村福祉のつどいにおいても、継続して関わらせていただいております。

震災から7年、震災への想いを風化させないために、私たちの意識も大切にしていきたいと思っております。



毎年恒例の物産展

物産展の売上金 23,796円は義援金として、岩手県山田町社会福祉協議会へ寄付させていただきました。

# アンケート集計結果のご報告

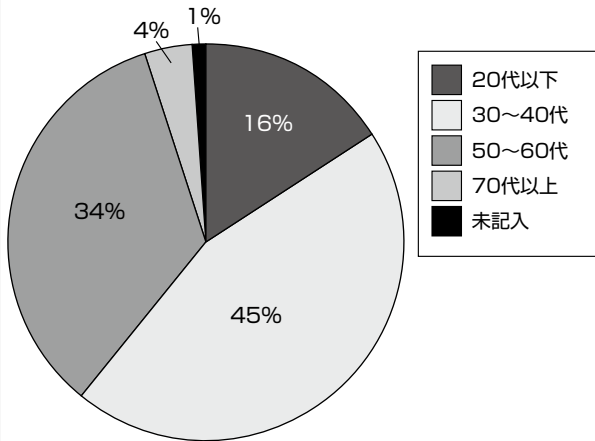
先般はご多用の中、『山形村社会福祉協議会の活動に関するアンケート』へのご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。

皆様のおかげで、貴重なご意見がたくさん集まりました。ここに重ねてお礼申し上げます。

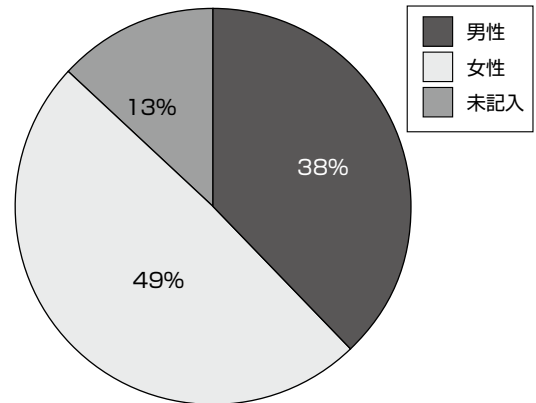
今回のアンケートの集計結果やご意見は各担当に伝え、今後の地域福祉事業に活かしていきます。

1. 実施期間 平成30年9月27日～11月26日の間
2. 回答者数 2,300部をお配りし、549部の回答をいただきました（回答率24%）

アンケートに答えてくださった方の年代

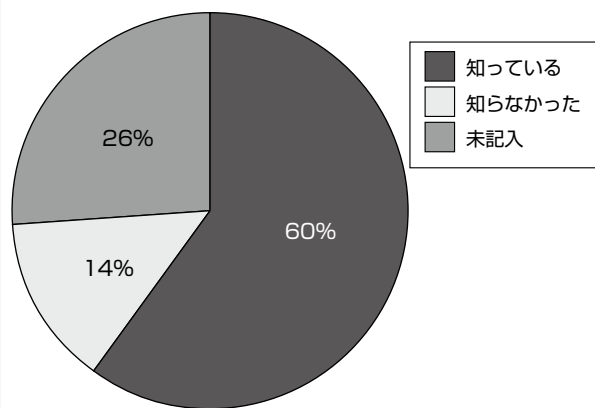


アンケートに答えてくださった方の性別



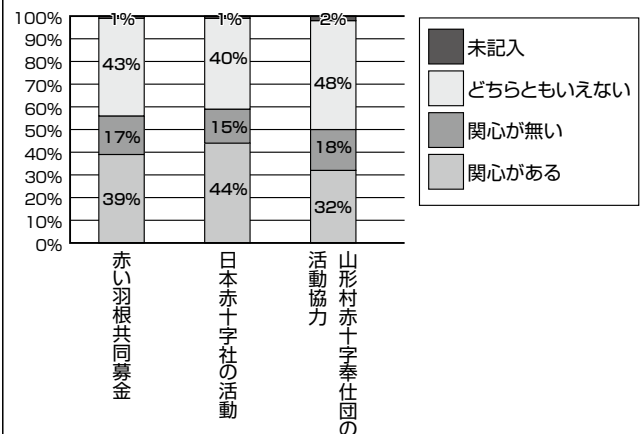
女性の方からのご回答が多かったものと判断されます。

山形村社会福祉協議会を知っている方の割合



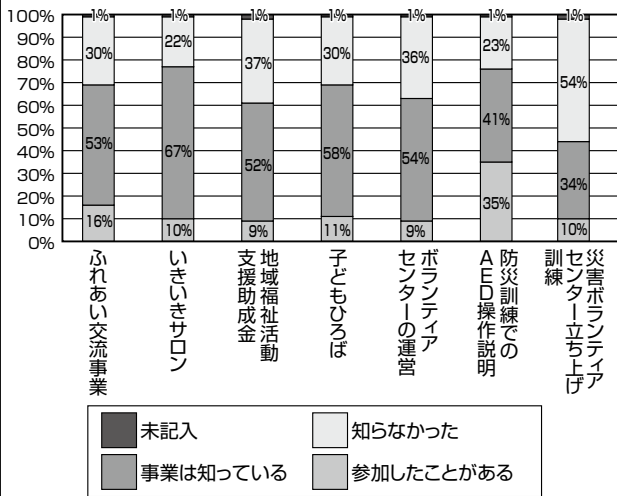
『山形村社会福祉協議会は皆様の会費や寄付、補助金等を財源として「誰もが幸せに生きられる地域社会づくり」を目指し、介護・福祉事業をはじめとする、各種の地域福祉活動を推進する団体であることをご存じでしたか』という質問に対しては、「①知っている」方が60%でした。半数をこえているとは言え、自由記入にも多くいただいた「活動のPR不足」が表れた結果となりました。

関心のある福祉活動



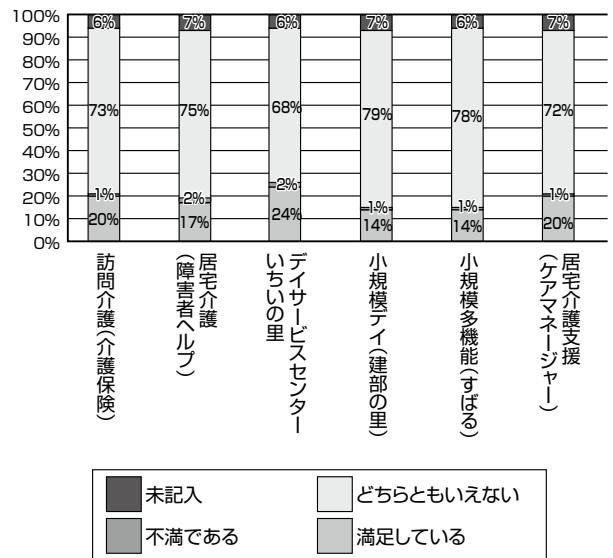
それぞれ、「関心がある」方は多いものの「どちらともいえない」が最も多い結果になり、活動内容の質の向上とPRが今後の課題となります。

### 参加したことがある地域活動



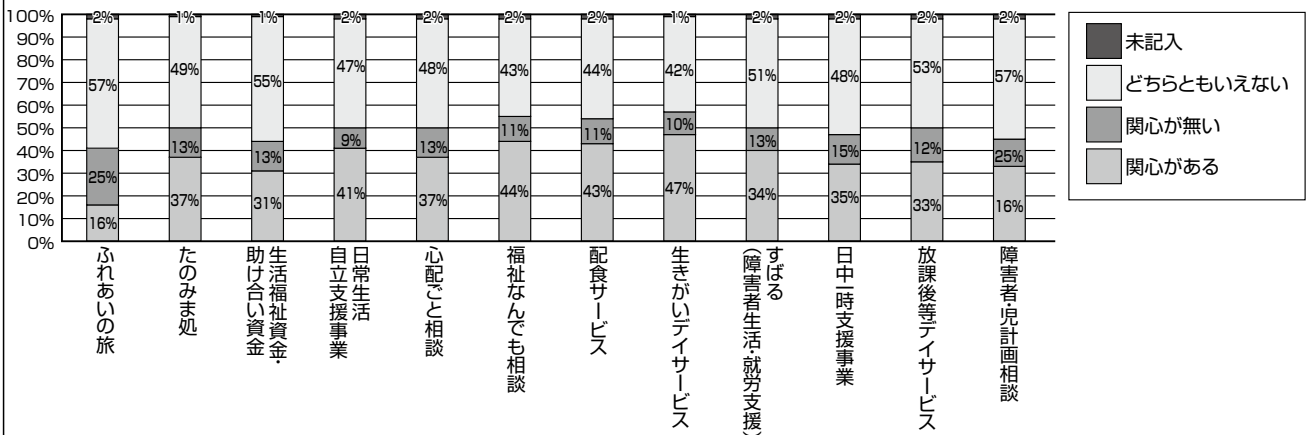
参加したことがある地域活動は、「各区でのAED配備事業と防災訓練でのAED操作説明」と「ふれあい交流事業等の地域活動」が多く、次いで「子どもひろば」「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」「いきいきサロン」と続いており、『防災』『各地区ごとの取り組み』『子どもを対象とした取り組み』が参加のキーワードになっていると考えられます。

### 介護保険事業についての満足度



介護保険事業への満足度ですが、利用経験が無い方が多かったためか、「どちらともいえない」が最も多い結果となりました。

### 関心のある福祉活動



最も関心がある福祉活動は「生きがいデイサービス」の事業であることがわかりました。高齢者の定年退職後の地域活動の場づくり等、活動の方向性として参考になる結果となりました。その他「福祉なんでも相談」「心配ごと相談」といった身近な相談活動への関心の高さが表れた結果となりました。

#### ◆皆さんから出た意見

- 子ども達にあるといい福祉サービス・福祉活動
  - ・こども食堂、放課後、長期休みに学生が集える場所、高齢者の知恵を勉強できるイベントなど
- 障害者にあるといい福祉サービス・福祉活動
  - ・外出支援サービス、入所施設など
- 高齢者にあるといい福祉サービス・福祉活動
  - ・入所施設、若い世代と関われる活動など

#### ◆山形村社会福祉協議会への要望等

- ・活動のPRをもっとした方がよい
- ・職員教育、若い世代を大切に育成してほしい
- ・社協会費の金額の見直しをしたらどうか

「事業の説明・PRが不足しているのでは」というご意見が多数あり、今後、広報・ホームページの媒体だけでなく、個々の活動を通じて社会福祉協議会の活動PRの場を増やしていきます。

なお、現在もご返送いただいているアンケート結果もございますので、最終的な集計結果は、後日改めてホームページでお知らせする予定です。

ご協力いただき、ありがとうございました。

## 寄稿

## 「靖国神社参拝」に参加して

山形村遺族会会長 清 沢 實 視

今年も残すところ、あと僅かとなり、平成最後の年の瀬を迎えております。

私ども山形村遺族会は戦後間もない昭和28年12月に発足し、強い絆で脈々と引継がれ、今年で65年になります。

当、遺族会はこの間、親族戦没者の顕彰と遺霊に対する活動推進を行なってまいりました。

その一つに隔年毎に行なっている「靖国神社昇殿参拝」があり、今年も去る、11月19日に実施することができました。

当日の参加者は、29名（内、2名は社会福祉協議会担当職員）は、早朝7時前に貸切バスにてミラフード館駐車場を出発し、午前11時には「靖国神社」到着いたしました。

靖国神社周辺は今にも雨が降ってきそうな天候の中、多くの参拝者が途切れなく訪れておりました。

私ども一行は本殿に案内され昇殿参拝を厳粛の中、無事済ませることができました。

靖国神社には、戦場において、我が国の安泰と親族の幸せを祈りつつ散っていった二百四十六万余柱の神霊が祀られております。

勿論、この中には長野県関係で戦死され五万五千四百余柱、そして山形村関係者二百九十八柱も祀られています。

戦友同志で「靖国でまた逢う！」と誓い合い戦場に散っていった御英霊の無念さを思う時、尽きることのない悲痛な想いが胸にこみ上げ、涙をおさえることができませんでした。

靖国神社参拝後、一行は「浅草寺」に参拝、そして「築地場外市場」を見学し、夕方7時前に山形村へ戻ることができました。

靖国神社参拝に山形村遺族会様とご一緒させていただきました。

鳥居を過ぎ、神門から見た拝殿は格式があり、その佇まいから先人への想いが衝動的にそして心閑かに抱かされました。

本殿に入り、広島遺族会様と共に、御霊に祈りを捧げました。

私たちは、国家のために一命を捧げた方々の英霊を慰め、その顕彰と築いてくださった平和への礎を護持していかなければなりません。

今回、「靖国神社遊就館」を訪ねることはできませんでしたが、英霊のご遺徳に触れることができ、山形村ご遺族様のご関係者様に関する資料もあり歴史を学べる館と聞いております。次期は是非拝観いたしたいと思っております。

山形村社会福祉協議会 遺族会事務局



# あたたかな善意、ありがとうございます



## 赤い羽根・歳末たすけあい 共同募金運動の実施結果



平成30年度／赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を、10月1日から10月31日にかけて実施したところ、下表のような実績となり、全額を長野県共同募金会へ送金します。この募金は、その一部が平成30年度において、配分金として山形村社会福祉協議会へ交付され、村内の福祉事業（指定福祉活動支援助成金等）に充てられます。

総合計 **1,892,511円**

平成30年12月12日現在（単位：円）

上大池	中大池	小 坂	下大池	上竹田	下竹田	職 域	山形小学校	鉢盛中学校	村内公共施設等	募金総額
227,000	179,000	360,000	196,000	471,400	425,000	12,321	9,120	6,243	6,427	1,892,511

### みんなのために～赤い羽根共同募金寄付～

#### 山形小学校

ボランティア委員の児童が中心となり、3日間校内で募金の呼びかけを行い集まった、赤い羽根共同募金を寄付していただきました。

委員会を代表して2名の児童から「みんなが募金をしてくれて、嬉しかった。」「最初は緊張して声が出なかったけど、だんだん慣れてきて大きな声で呼びかけをすることができた。」と、3日間の活動の呼びかけにより集まった寄付金 9,120円をお預かりしました。



#### 鉢盛中学校

福祉交流委員会が中心となり「誰かの役に立つことができればと思い、みんなで活動をしました。」と昇降口などで3日間呼びかけて集まった赤い羽根共同募金を寄付していただきました。

同時に、今年の7月に起こった豪雨災害の時に生徒が自発的に集めた義援金も、今回の共同募金と一緒に、6,633円をお預かりしました。

小学校、中学校のみなさんの温かい気持ちと共に、長野県共同募金会へ送金させていただきます。



## あなたの協力が必要です！



雪かき支援

ゴミ捨て

掃 除  
障子の貼り替え

など



山形村も高齢者世帯や高齢者の独り暮らしが増えています。

『地域のために何かやりたい』『自分が培ってきた技を活かしたい!』…そんなあなた!!  
ぜひ、『山形村有償在宅福祉サービス たのみま処』に登録を!

お問い合わせ先  
山形村社会福祉協議会 電話97-2102 担当：吉澤 宮田

**まほろば** (社協広報/第82号) 平成30年12月28日発行

- 発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会** (山形村保健福祉センターいちいの里内)  
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108  
ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
- 「まほろば」に掲載できなかった記事については、ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。